

令和9年度

岡山県立中学校及び岡山県立中等教育学校

入学者選抜実施要項

令和8年9月

岡山県教育委員会

目 次

【令和9年度岡山県立中学校及び岡山県立中等教育学校入学者選抜実施要項】

1 募 集	1
2 出 願	1
3 事前審査	2
4 入学者選抜のための適性検査及び面接	2
5 選 抜	3
6 入学選抜手数料	4
7 合格者の発表	4
8 欠員の補充	4
9 適性検査の結果に関する保有個人情報の本人提供	4
10 そ の 他	4

[参 考]

- 岡山県立中学校、高等学校及び中等教育学校の通学区域に関する規則（抄） --- 4
- 中学校及び中等教育学校入学者選抜に関する日程一覧表 ----- 5

[出願関係書類]

- 入学願書及び受検票
- 調査書（裏面：調査書作成上の注意）
- 調査書（記入例）
- 調査書別紙
- 調査書別紙（記入例）
- 学区外出願許可申請書
- 封筒（入学願書等送付用 1 通・返信用 2 通）

【学校別補足資料】

岡山県立岡山操山中学校・高等学校	8
岡山県立倉敷天城中学校・高等学校	10
岡山県立津山中学校・高等学校	12
岡山県立岡山大安寺中等教育学校	14

出願書類チェックリスト・問合せ先	裏表紙
------------------	-----

令和9年度岡山県立中学校及び岡山県立中等教育学校入学者選抜実施要項

令和9年度岡山県立中学校及び岡山県立中等教育学校入学者選抜は、この要項の定めるところによる。

1 募 集

(1) 応募資格

岡山県立中学校（以下「中学校」という。）又は岡山県立中等教育学校（以下「中等教育学校」という。）に入学を志願する者（以下「志願者」という。）は、小学校若しくはこれに準ずる学校若しくは義務教育学校の前期課程若しくは文部科学大臣が小学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設（以下「小学校等」という。）を修了する見込みの者又はこれと同等以上の学力があると認められた者でなければならない。

(2) 募集定員

岡山県立岡山操山中学校（以下「岡山操山中学校」という。）	105名
岡山県立倉敷天城中学校（以下「倉敷天城中学校」という。）	105名
岡山県立津山中学校（以下「津山中学校」という。）	70名
岡山県立岡山大安寺中等教育学校（以下「岡山大安寺中等教育学校」という。）	140名

2 出 願

(1) 出願の制限

ア 志願者は、岡山県立中学校、高等学校及び中等教育学校の通学区域に関する規則（昭和30年岡山県教育委員会規則第13号。以下「規則」という。）第4条第1項又は第4条の2第1項の規定により出願しなければならない。

イ 志願者は、中学校及び中等教育学校のうち1校のみに出願することができる。

(2) 志願者情報等登録

ア 志願者情報等登録期間は令和8年10月29日（木）から11月27日（金）までとする。

イ 志願者は、志願する中学校又は中等教育学校（以下「志願校」という。）のインターネット出願システムにおける出願サイト（以下「出願サイト」という。）に所定事項の入力等を行う。

準 備 物 等	備 考
志願者の写真データ	令和8年10月1日以降に撮影した正面上半身無帽の写真データ（縦4：横3・白黒、カラーを問わない。）を、出願サイトに登録する。
入学選抜手数料	出願サイトを通じて納付する。（2,200円）

(3) 出願の期間

令和8年11月25日（水）から11月27日（金）までとする。

(4) 出願の手続

ア 出願は、志願者ごとの郵送に限る。（令和8年11月27日（金）までの消印のあるものを有効とする。）

イ 志願者の保護者（児童に対して親権を行う者をいい、親権を行う者のないときは、未成年後見人をいう。以下同じ。）は、次の書類等を簡易書留郵便により志願校の校長に提出する。

提 出 書 類 等	備 考
入 学 願 書	1部（出願サイトから印刷したもの）
調 査 書	1部。志願者の在学している小学校等の校長が作成し、厳封したもの。調査書は、高校魅力化推進室ホームページからダウンロードしたものを基に作成する。
返 信 用 封 筒	2通。返信先の住所、郵便番号及び志願者本人の氏名を明記し、それぞれに530円分の切手を貼付した所定の封筒。

ウ 小学校等の校長は、作成した調査書を、志願者の志願校名及び氏名を記入した封筒に入れ、厳封の上、志願者に渡す。

なお、封筒については、当該小学校等名が印刷（ゴム印可）されたものを使用する。

(5) そ の 他

いったん受領した書類等は、いかなる理由があっても返還しない。

3 事前審査

(1) 学区外出願許可の申請

規則第4条の2第1項による志願者（保護者とともに岡山県内に転居することが決定している志願者又はやむを得ない理由により保護者が県外に居住している志願者等をいう。）は、出願に先立って次の要領により、学区外出願許可申請書等を提出し、許可を受けなければならない。

ア 提出期間

令和8年10月29日（木）から11月20日（金）まで（土曜日、日曜日及び祝日は除く。）の午前9時から午後4時30分までとする。

なお、郵送により提出する場合は、簡易書留により郵送する。（令和8年11月20日（金）までの消印のあるものを有効とする。）

イ 提出書類及び提出部数

- (ア) 学区外出願許可申請書 2部
- (イ) 理由を裏付ける証明書類等 2部（うち1部は複写したもの）
- (ウ) 返信用封筒（長形3号封筒（横120mm×縦235mm）） 1通

返信先の住所、郵便番号及び志願者本人の氏名を明記し、460円分の切手を貼付する。

ウ 問合せ及び提出先

学区外出願許可を申請する場合は、必ず事前に次の提出先に問い合わせること。

○岡山操山中学校を志願する者

岡山県立岡山操山中学校
〒703-8573 岡山市中区浜412番地 TEL 086-272-9836

○倉敷天城中学校を志願する者

岡山県立倉敷天城中学校
〒710-0132 倉敷市藤戸町天城269番地 TEL 086-429-3494

○津山中学校を志願する者

岡山県立津山中学校
〒708-0051 津山市椿高下62番地 TEL 0868-22-3301

○岡山大安寺中等教育学校を志願する者

岡山県立岡山大安寺中等教育学校
〒700-8761 岡山市北区北長瀬本町19番34号 TEL 086-255-5013

(2) 出 願

出願に当たっては、志願校が交付する学区外出願許可通知書を入学願書に添付し、「2 出願」により手続を行う。

4 入学者選抜のための適性検査及び面接

(1) 実施期日及び実施会場

令和9年1月9日（土） 志願校

ただし、志願者数によっては、上記以外の岡山県立高等学校を実施会場とする場合がある。

(2) 日 程

集 合	8 : 5 0
点呼・注意	8 : 5 0 ～ 9 : 2 0
適性検査Ⅰ	9 : 3 0 ～ 1 0 : 1 5
適性検査Ⅱ	1 0 : 4 5 ～ 1 1 : 3 0
面 接	1 3 : 0 0 ～

※ 集合時刻に遅刻しても午前9時50分までであれば、受検できます。

(3) 適性検査及び面接の方法

ア 適性検査

思考力や思考過程、判断力、表現力など、小学校等の教育において身に付けた総合的な力をみるため、次の(ア)、(イ)の検査（各検査70点満点）を行う。いずれの適性検査も、各中学校及び中等教育学校に共通する内容とし、県教育委員会において作成する。

(ア) 適性検査Ⅰ 身のまわりの事象や自然の現象等を題材としたもの

(イ) 適性検査Ⅱ 日常生活や社会的事象に関する文章や資料等を題材としたもの

イ 面接

志願者の意欲や適性等を多面的にみるため、集団面接を行う。

(4) 配慮事項

適性検査及び面接を受検するに当たり、病気や障害等の事情により特別な配慮を必要とする場合、保護者は、事前に志願校と十分相談する。

(5) 適性検査・面接実施委員会

ア 中学校及び中等教育学校ごとに実施委員会を設け、適性検査・面接の実施管理に当たる。

イ 実施委員会には、委員長1名及び委員を置く。

ウ 委員長 中学校又は中等教育学校の校長

委 員 岡山操山中学校

岡山操山中学校、岡山県立岡山操山高等学校（以下「岡山操山高等学校」という。）及び別に実施会場となる岡山県立高等学校の教職員並びに岡山県教育庁職員の中から、委員長が選任した者

倉敷天城中学校

倉敷天城中学校、岡山県立倉敷天城高等学校（以下「倉敷天城高等学校」という。）及び別に実施会場となる岡山県立高等学校の教職員並びに岡山県教育庁職員の中から、委員長が選任した者

津山中学校

津山中学校、岡山県立津山高等学校（以下「津山高等学校」という。）及び別に実施会場となる岡山県立高等学校の教職員並びに岡山県教育庁職員の中から、委員長が選任した者

岡山大安寺中等教育学校

岡山大安寺中等教育学校及び別に実施会場となる岡山県立高等学校の教職員並びに岡山県教育庁職員の中から、委員長が選任した者

5 選 抜

(1) 選抜の方針

入学者の選抜は、中学校又は中等教育学校の校長が行う。選抜に当たっては、小学校等の校長から提出される調査書、適性検査及び面接の結果を資料として、総合的に判断する。

(2) 選抜委員会

ア 中学校及び中等教育学校ごとに選抜委員会を設け、入学者の選抜を行う。

イ 選抜委員会には、委員長1名及び委員を置く。

ウ 委員長 中学校又は中等教育学校の校長

委 員 岡山操山中学校

岡山操山中学校及び岡山操山高等学校の教職員の中から、委員長が選任した者

倉敷天城中学校

倉敷天城中学校及び倉敷天城高等学校の教職員の中から、委員長が選任した者

津山中学校

津山中学校及び津山高等学校の教職員の中から、委員長が選任した者

岡山大安寺中等教育学校

岡山大安寺中等教育学校の教職員の中から、委員長が選任した者

(3) そ の 他

ア 選抜に当たって使用した資料等は、公表しない。

イ 中学校及び中等教育学校の校長は、選抜終了後、令和9年2月15日(月)又は2月16日(火)に、入学者選抜の経過報告書を岡山県教育庁高校教育課高校魅力化推進室長あて提出する。

6 入学選抜手数料

- (1) 入学選抜手数料は、岡山県立学校入学選抜手数料、入学金、進級料及び各種証明手数料徴収条例（昭和24年岡山県条例第62号）の規定により、出願サイトを通じて2,200円を納付する。
- (2) いったん受領した入学選抜手数料は、返還しない。

7 合格者の発表

- (1) 令和9年1月22日（金）までに、適性検査・面接の受検者全員に選抜結果を通知する。
- (2) 選抜結果についての問い合わせには応じない。
- (3) 合格者の保護者は、入学確約書を令和9年1月26日（火）から1月28日（木）までの間に受検した中学校又は中等教育学校の校長に提出する。
なお、期間内に手続きが行われない場合は、入学の意思がないものとして取り扱う。

8 欠員の補充

合格者の発表以後に入学辞退者が生じた場合は、当該中学校又は中等教育学校において不合格となった受検者の中から、募集定員に達するまで欠員の補充を行う。

9 適性検査の結果に関する保有個人情報の本人提供

個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）に基づく、保有個人情報の本人提供（以下「本人提供」という。）については、次のとおりである。

- (1) 本人提供の申出を行うことができる者
受検者本人及び受検者の保護者
- (2) 本人提供の対象となる個人情報の内容
適性検査の評価点（閲覧）
- (3) 本人提供を実施する期間
選抜結果の通知の日の翌日から1月間。受付時間は、午前9時から午後4時30分までとする。
ただし、土曜日、日曜日及び祝日は除く。
- (4) 本人提供を実施する場所
受検した中学校又は中等教育学校
- (5) 確認のための必要書類
ア 受検者本人の場合は、受検票
イ 受検者の保護者の場合は、受検票及び受検者の保護者本人であることを確認するための書類（運転免許証、個人番号カード（マイナンバーカード）等）
※ 顔写真が無い又は住所記載が無い等の書類の場合は、複数の書類により確認する。（国民年金手帳、旅券等）
※ 入学願書に記名のない保護者の場合は、受検者との続柄を確認するための書類（住民票の写し等）を併せて確認する。

10 その他

- (1) 岡山県教育委員会教育長が必要と認めたときは、入学者選抜について調査する。
- (2) 出願について不正の事実（応募資格、通学区域、調査書等）があるときは、入学許可後といえども入学を取り消す等の措置をとることがある。
- (3) 選抜に関する表簿の保存期間は、学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第28条の規定により5年間である。

○岡山県立中学校、高等学校及び中等教育学校の通学区域に関する規則（抄） （昭和30年岡山県教育委員会規則第13号）

第3条第1項 中学校及び中等教育学校の学区は、全県とする。（以下略）

第4条第1項 中学校又は中等教育学校に入学（転学及び編入学を含む。）を出願しようとする者は、その保護者（成年に達した生徒にあっては、本人。以下同じ。）の現住所が岡山県内になければならない。（以下略）

第4条の2第1項 やむを得ない理由があると認められる者は、前条第1項の規定にかかわらず、保護者の現住所が岡山県内にない場合であつても、中学校又は中等教育学校に出願することができる。（以下略）

○中学校及び中等教育学校入学者選抜に関する日程一覧表

(注) ◎印は、中学校又は中等教育学校が行う事項

月 日 (曜)	実 施 事 項	志 願 者 ・ 保 護 者 の 手 続 等
10. 29 (木)	事前審査の申請	○ 保護者とともに岡山県内に転居することが決定している場合や、やむを得ない理由により保護者が県外に居住している場合などが該当する。
11. 20 (金)	学区外出願許可通知書の受領	○ 必ず事前に志願校に問い合わせ、次の書類等を提出する。なお、郵送により提出する場合は、封筒の表に「学区外出願許可申請書在中」と朱書し、簡易書留により郵送する。郵便局窓口へ提出し、控えを保管しておくこと。 ※ 提出期間の最終日(11月20日(金))までの消印のあるものを有効とする。
		○ 提出書類等 1 学区外出願許可申請書 2 部 2 理由を裏付ける証明書類等 2 部 (うち1部は複写したもの) [例] 転勤 (内示) 証明書、建築確認通知書、民生委員の証明書 等 3 返信用封筒 1 通 ※ 返信先の住所等を明記し、460円分の切手を貼付した長形3号(横120mm×縦235mm)の封筒。 ※ 宛先は、志願者氏名に「様」を付けて記入する。
		◎ 志願校が提出書類等を審査し、特別の事情があると認められる場合は、学区外出願許可通知書を送付する。
		[問合せ及び提出先]
		岡山操山中学校を志願する者 岡山県立岡山操山中学校 〒703-8573 岡山市中区浜412番地 TEL 086-272-9836
		倉敷天城中学校を志願する者 岡山県立倉敷天城中学校 〒710-0132 倉敷市藤戸町天城269番地 TEL 086-429-3494
		津山中学校を志願する者 岡山県立津山中学校 〒708-0051 津山市椿高下62番地 TEL 0868-22-3301
		岡山大安寺中等教育学校を志願する者 岡山県立岡山大安寺中等教育学校 〒700-8761 岡山市北区北長瀬本町19番34号 TEL 086-255-5013
	出願の準備	○ 調査書の作成を在学している小学校等の校長へ依頼する。 ○ 在学している小学校等の校長が作成した調査書を受け取る。その際、当該小学校等名が印刷 (ゴム印可) された封筒の表に、志願者の志願校名及び氏名が記入されていることを確認する。 ○ 封筒を開封すると調査書は無効となるので、絶対に開封しないこと。

見 本

切 手 を
貼 っ て
く だ さ い

志 願 校 名

志 願 校 住 所

入 学 願 書 等 在 中

簡 易 書 留

志 願 者	住 所	(〒) ☎ () (方)
	氏 名	
	在 学 小学校	

(入学願書等送付用)

見 本

次の出願書類等が同封されているかを確認し、チェック☑してから提出してください。

提 出 書 類 等	チ ェ ッ ク ポ イ ン ト
☐ 入 学 願 書	☐ 出願サイトから印刷していますか。
☐ 調 査 書	☐ 小学校等名が記載された封筒の表に、志願校名及び志願者氏名が記入されていますか。 ※ 開封すると無効となります。
☐ 返 信 用 封 筒	☐ 530円分の切手を貼付した所定の封筒が2通入っていますか。 ☐ 2通とも志願者本人の住所、郵便番号及び氏名を記入していますか。 ☐ 2通とも志願校の左枠内に○をしていますか。

※ 出願用封筒は郵便局窓口へ提出し、**簡易書留**で郵送してください。

見 本

530円分の
切 手 を
貼 っ て
ください

志 願 者 氏 名

返 信 先 住 所

簡
易
書
留

様

差 出 人

	岡山県立岡山操山中学校	〒703-8573	岡山市中区浜412番地
	岡山県立倉敷天城中学校	〒710-0132	倉敷市藤戸町天城269番地
	岡山県立津山中学校	〒708-0051	津山市椿高下62番地
	岡山県立岡山大安寺中等教育学校	〒700-8761	岡山市北区北長瀬本町19番34号

↑ 志願校に○をしてください。

見 本

530円分の
切 手 を
貼 っ て
ください

志 願 者 氏 名

返 信 先 住 所

簡
易
書
留

見

本

様

差 出 人

	岡山県立岡山操山中学校	〒703-8573	岡山市中区浜412番地
	岡山県立倉敷天城中学校	〒710-0132	倉敷市藤戸町天城269番地
	岡山県立津山中学校	〒708-0051	津山市椿高下62番地
	岡山県立岡山大安寺中等教育学校	〒700-8761	岡山市北区北長瀬本町19番34号

↑ 志願校に○をしてください。

月 日 (曜)	実 施 事 項	志 願 者 ・ 保 護 者 の 手 続 等
10. 29 (木))	志願者情報等 登 録	○ 出願サイトに所定事項を入力する。 ○ 出願サイトに志願者の写真データを登録する。
11. 27 (金)		○ 出願サイトを通じて入学選抜手数料 (2,200円) を納付する。 ○ 出願サイトから入学願書を印刷する。

月 日 (曜)	実 施 事 項	志 願 者 ・ 保 護 者 の 手 続 等
11. 25 (水))	出 願	○ 出願に必要な次の書類等を整えて、所定の封筒を用い簡易書留により郵送する。郵便局窓口へ提出し、控えを保管しておくこと。 ※ 志願者ごとに保護者が郵送する。出願は郵送に限る。 ※ 令和8年11月27日(金)までの消印のあるものを有効とする。
11. 27 (金)		○ 出願に必要な書類等 1 入学願書 1 部 2 調査書 (厳封したもの) 1 部 3 返信用封筒 2 通 ※ 返信先の住所等を明記した所定の封筒。それぞれに530円分の切手を貼付する。
	[問合せ及び提出先]	
	岡山操山中学校を志願する者 岡山県立岡山操山中学校 〒703-8573 岡山市中区浜412番地 TEL 086-272-9836	
	倉敷天城中学校を志願する者 岡山県立倉敷天城中学校 〒710-0132 倉敷市藤戸町天城269番地 TEL 086-429-3494	
	津山中学校を志願する者 岡山県立津山中学校 〒708-0051 津山市椿高下62番地 TEL 0868-22-3301	
	岡山大安寺中等教育学校を志願する者 岡山県立岡山大安寺中等教育学校 〒700-8761 岡山市北区北長瀬本町19番34号 TEL 086-255-5013	
12. 4 (金) 以降	適性検査等の 案 内 受 領	○ 郵送により受領するもの 適性検査・面接当日の日程、集合時刻、検査会場図、留意事項等の案内 ※ 12月8日(火)までに届かない場合は、志願校へ問い合わせる。
	受検票の印刷	○ 出願サイトから受検票を印刷する。

月 日 (曜)	実 施 事 項	志 願 者 ・ 保 護 者 の 手 続 等
1. 9 (土)	適性検査・面接	○ 受検票は、入学するまでの様々な手続に必要となるので、受検後も大切に保管しておく。 [実施会場] 志願校
1. 22 (金) までに	選抜結果の受領	◎ 適性検査・面接の受検者全員に選抜結果を通知する。 ○ 1月25日(月)までに届かない場合は、受検した中学校又は中等教育学校に問い合わせる。 ○ 通知を受領したら、速やかに選抜結果を在学している小学校等に伝える。
1. 26 (火))	入学確約書の提出	○ 合格者の保護者は、受検した中学校又は中等教育学校の校長に入学確約書を提出する。
1. 28 (木)		

受検番号	
------	--

入学願書

わたくしは、貴校に入学したいので、次のとおり出願します。

もし、事実と相違しているときは、除籍されましても異議を申し立てないことを誓約します。

令和 年 月 日

岡山県立〇〇〇〇〇〇校長 殿

在学小学校名

フリガナ
志願者氏名

保護者氏名

志願者写真

記

(〒)

1 志願者 現住所

(〒)

2 保護者 現住所

【連絡先電話番号】

連絡先

電話番号

○通常の場合 []

○緊急の場合 []

※ 入学願書の受検番号欄には、受検番号は印字されません。

注意

1 入学願書及び受検票は、出願サイトから印刷すること。

2 出願サイトから印刷する際、入学願書及び受検票はそれぞれ別々に印刷される。

3 本様式は、出願サイトから印刷される入学願書及び受検票と体裁等が異なる場合がある。

4 各出願関係書類において、「小学校」とは、「小学校、特別支援学校の小学部、義務教育学校の前期課程、文部科学大臣が小学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設」のことをいう。

受 検 票

発 行 者	岡山県立〇〇〇〇〇学校長
受検番号	
志 願 者 氏 名	
在 学 小学校名	

受検会場	岡山県立〇〇〇〇〇学校
------	-------------

適性検査・面接日程

集 合 時 刻 8:50

適性検査Ⅰ 9:30～10:15

適性検査Ⅱ 10:45～11:30

面 接 13:00～

1 検査は、令和9年1月9日（土）に行います。

2 集合時刻に遅刻しても午前9時50分までであれば、受検できます。

3 受検中は、この受検票を常に所持しておきなさい。

山 折 り

適性検査・面接の当日
持参するものについて

1 検査室へ持って入るもの（ただし、検査の内容によっては、使用しないものもあります。）
受検票、えん筆（シャープペンシル）、消しゴム、じょうぎ（ものさしでもよい）、コンパス

2 検査室へ持ち込んでもよいもの
えん筆けずり、えん筆入れ、時計、ざぶとん

※ ただし、分度器、分度器機能のついたじょうぎや分度器機能のついたコンパス、計時機能以外の機能をもつ時計、スマートフォン・スマートウォッチ・けいたい電話などの通信機器等、適性検査の公正を欠くおそれのあるものの検査室への持ち込みは認めません。

3 その他必要なもの
上ばき、下足入れ

（注意） 受検票を適性検査・面接の当日に忘れたり、無くしたりしたときは、〇〇〇〇〇学校に連絡してください。

調 査 書

志 願 者	フリガナ 氏 名		性 別		小学校		※受検番号		
	平成 年 月 日生			令和 年 月 日卒業見込					
各 教 科 の 学 習 の 記 録						総 合 的 な 学 習 の 時 間 の 記 録			
教 科	観 点 別 学 習 状 況			評 定		5 年			
	観 点	5 年	6 年	5 年	6 年				
国 語	知識・技能					6 年			
	思考・判断・表現								
	主体的に学習に取り組む態度								
社 会	知識・技能					6 年			
	思考・判断・表現								
	主体的に学習に取り組む態度								
算 数	知識・技能					特 別 活 動 の 記 録			
	思考・判断・表現					内 容 \ 学年	5 年	6 年	
	主体的に学習に取り組む態度					学級活動			
理 科	知識・技能					児童会活動			
	思考・判断・表現					クラブ活動			
	主体的に学習に取り組む態度					学校行事			
音 楽	知識・技能					行 動 の 記 録			
	思考・判断・表現					項 目 \ 学年	5 年	6 年	
	主体的に学習に取り組む態度					基本的な生活習慣			
図 画 工 作	知識・技能					健康・体力の向上			
	思考・判断・表現					自主・自律			
	主体的に学習に取り組む態度					責任感			
家 庭	知識・技能					創意工夫			
	思考・判断・表現					思いやり・協力			
	主体的に学習に取り組む態度					生命尊重・自然愛護			
体 育	知識・技能					勤労・奉仕			
	思考・判断・表現					公平・公正			
	主体的に学習に取り組む態度					公共心・公德心			
外 国 語	知識・技能					出 欠 の 記 録			
	思考・判断・表現					学 年	欠席日数	欠席理由	
	主体的に学習に取り組む態度					5 年			
特 記 事 項						6 年			
						記入責任者 氏 名			
総 合 所 見 及 び 指 導 上 参 考 と な る 諸 事 項						この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する			
						令和 年 月 日			
						小学校名			
						校長名			

調査書作成上の注意

- 1 中学校及び中等教育学校に提出する調査書は、小学校等が高校魅力化推進室ホームページからダウンロードしたものを基に作成し、プリンタから出力したもののほか複写したものでもよい。
 - ・高校魅力化推進室ホームページ
<https://www.pref.okayama.jp/→教育委員会→高校魅力化推進室>
- 2 ※欄は、記入しないこと。
- 3 第6学年の記入事項のうち、出欠の記録は10月末現在、その他の項目については1学期（前期）末現在で記入する。
- 4 各欄の記入は、次のとおりとする。
 - (1) 「志願者」
 - ア 性別：男女のいずれかを記入する。
 - イ 小学校名：正式名称を記入する。
 - エ 「各教科の学習の記録」
 - 「観点別学習状況」
第5学年については、児童指導要録（以下「指導要録」という。）に記入してある「観点別学習状況」を転記する。第6学年については、観点ごとに指導要録に記入する仕方によって、A、B、Cの評価を記入する。
なお、文章記述でなされている場合の取扱いは、(8)アによる。
 - 「評定」
第5学年の評定については、各教科とも、指導要録に記入してある3段階評定を転記する。第6学年の評定については、各教科とも、指導要録に記入する仕方によって、目標に準拠した評価による3段階評定を記入する。
なお、文章記述でなされている場合の取扱いは、(8)アによる。
 - ウ 「特記事項」
特別に記入を要する事項（例えば、病気、けが等により評定に著しく変動のあった場合）があればその状況について記入する。特別に記入を要する事項が無い場合は、「特記事項なし」と記入する。
特別支援学級の在籍児童等については、通常学級とは異なる独自の基準による評定である教科がある場合は、その旨を明記し、優れた特徴などがあれば、記入する。
 - (3) 「総合的な学習の時間の記録」
この時間に行った学習活動、取組の内容（テーマ等）、児童の学習状況における顕著な事項や児童にどのような力が身に付いたかなどを記入する。第5学年については、指導要録に記入してある内容に基づき記入する。第6学年については、指導要録に記入する仕方によって、内容について記入する。
 - (4) 「特別活動の記録」
第5学年については、指導要録に記入してある○印を該当欄に転記する。第6学年については、指導要録に記入する仕方によって、○印があれば該当欄に記入する。○印のない欄には「・」を記入する。
なお、文章記述でなされている場合の取扱いは、(8)アによる。
 - (5) 「行動の記録」
第5学年については、指導要録に記入してある「行動の記録」を転記し、第6学年については、指導要録に記入する仕方によって、○印があれば該当欄に記入する。○印のない欄には「・」を記入する。
なお、文章記述でなされている場合の取扱いは、(8)アによる。

- (6) 「出欠の記録」
 - ア 第5学年については、指導要録に記入してある「欠席日数」を転記し、第6学年については、10月末現在で記入する。
 - イ 「欠席理由」欄には、各学年で、欠席日数の計が15日以上又は連続して6日以上ある場合、その主な理由を記入する。ただし、出席停止、忌引き等の日数は、欠席日数に含めない。
 - (7) 「総合所見及び指導上参考となる諸事項」
以下のア～エについて児童の成長の状況等を記入する。
 - ア 第6学年における観点別学習状況における優れた特徴や、各教科の学習について総合的に見た場合の児童の長所。
 - イ 特別活動に関する事実に及び所見。
 - 事実に第6学年における所属する係名、委員会名、クラブ名及び学校行事における役割。
 - 所見…第6学年における学級活動、児童会活動、クラブ活動及び学校行事などにおいて優れた活動や目立った活動。
 - ウ 行動に関する所見。第6学年における全体的にとらえた児童の特性、行動面で優れている点など。
 - エ 検査、調査、観察等を通して見られた児童の適性、特技（資格、段位等を含む）等。
 - (8) その他の留意事項
 - ア 学習の記録等が文章記述でなされている場合の取扱い
各教科の学習の記録の「観点別学習状況」「評定」、「特別活動の記録」又は「行動の記録」が文章記述でなされている場合は、特記事項欄に「文章記述については別紙の記録」と記入し、当該記入欄には斜線を引き、調査書別紙を添付する。
なお、文章記述でなされているかについては、第5学年については指導要録の記載により、第6学年については指導要録に記入する仕方により、小学校等が判断する。
 - イ 道徳科の評価は、調査書に記載しない。

5 調査書を封入する封筒の様式

(表面)		(裏面)
開封無効	岡山県立 〇〇〇〇 校長殿 志願者氏名 〇〇〇〇 志願校名を記入 調査書在中 〇〇市立〇〇小学校	検印

※封入する際は、調査書を折り曲げてよい。

調査書を封入する封筒は、
学校名が印刷された公用
封筒又は、学校名のゴム
印を押印したものを使用
する。

調 査 書（記入例）

志 願 者	フリガナ 氏 名	オカヤマ サクラ 岡山 さくら	性 別	〇〇〇立△△△△ 小学校	※受検番号
	平成 26 年 5 月 1 日生	女	令和 9 年 3 月 31 日卒業見込		

各 教 科 の 学 習 の 記 録						総 合 的 な 学 習 の 時 間 の 記 録	
教科	観 点 別 学 習 状 況			評 定		5 年	6 年
	観 点	5 年	6 年	5 年	6 年		
国 語	知識・技能	B	A	2	3	5 年	地域の環境問題をテーマに…
	思考・判断・表現	B	A				
	主体的に学習に取り組む態度	B	A				
社 会	知識・技能	/	/	/	/	6 年	高齢化に伴う福祉課題の解決に向けて…
	思考・判断・表現	/	/				
	主体的に学習に取り組む態度	/	/				
算 数	知識・技能	A	/	3	3	6 年	特別活動の記録
	思考・判断・表現	A	/				
	主体的に学習に取り組む態度	A	/				
理 科	知識・技能	/	/	/	/	6 年	内容 \ 学年
	思考・判断・表現	/	/				
	主体的に学習に取り組む態度	/	/				
音 楽	知識・技能	/	/	/	/	6 年	学級活動
	思考・判断・表現	/	/				
	主体的に学習に取り組む態度	/	/				
図 画 工 作	知識・技能	A	A	3	3	6 年	児童会活動
	思考・判断・表現	A	A				
	主体的に学習に取り組む態度	B	B				
家 庭	知識・技能	A	A	3	3	6 年	クラブ活動
	思考・判断・表現	A	A				
	主体的に学習に取り組む態度	A	A				
体 育	知識・技能	C	A	2	3	6 年	行動の記録
	思考・判断・表現	B	A				
	主体的に学習に取り組む態度	B	A				
外 国 語	知識・技能	B	B	2	3	6 年	基本的な生活習慣
	思考・判断・表現	B	A				
	主体的に学習に取り組む態度	A	A				
特 記 事 項	文章記述については別紙記載。 けがにより、5年生体育の技能に関する評価に著しい変動がある。 外国語の観点別学習状況と評定の評価については、特別支援学級独自の基準による。						欠席理由
	総合所見及び指導						
	6年生での…						

出 欠 の 記 録		
学年	欠席日数	欠席理由
5 年	17	頭痛
6 年	2	

小学校名	〇〇〇立△△△△小学校
校長名	◇◇ ◇◇

調 査 書 別 紙

志 願 者	フリガナ 氏 名		性 別		小学校	※受検番号	
	平成	年		月	日生		令和

- 1 高校魅力化推進室ホームページからダウンロードしたものを基に作成し、プリンタから出力したもののほか複写したものでもよい。
- 2 ※欄は、記入しないこと。
- 3 調査書別紙記入上の注意
各教科の学習の記録の「観点別学習状況」「評定」、「特別活動の記録」又は「行動の記録」において、第5学年については、指導要録に文章で記述してある事項を転記する。第6学年については、指導要録に記入する仕方によって記入する。ただし、調査書に観点別学習状況及び評定の評価を記載している教科・学年の学習の状況については記載しない。
- 4 記載内容が1枚に収まらない場合は、複数枚作成してもよい。
ただし、本様式を使用し、すべての用紙にページ番号を付けること。

記入責任者 氏 名	
この調査書別紙の記載事項に誤りが無いことを証明する。	
令和 年 月 日	
小学校名	
校長名	

調査書別紙（記入例）

志願者	フリガナ氏名	オカヤマ サクラ 岡山 さくら	性別	〇〇〇立△△△△ 小学校	※受検番号
		平成 26 年 5 月 1 日生	女	令和 9 年 3 月 31 日卒業見込	

（注意）
この調査書別紙は該当者のみ提出する。

※指導要録において学習の記録等が文章記述で
なされている項目がある志願者のみ提出する。
※該当の有無については小学校等が判断する。

- ・ 社会
5 年生では、…
6 年生では、…

各教科の学習の記録が文章記述でなされている場合は、教科を明示してその内容を記入する。

- ・ 特別活動の記録
5 年生では、…
6 年生では、…

特別活動の記録が文章記述でなされている場合は、その内容を記入する。

- ・ 行動の記録
5 年生では、…
6 年生では、…

行動の記録が文章記述でなされている場合は、その内容を記入する。

- 高校魅力化推進室ホームページからダウンロードしたものを基に作成し、プリンタから出力したもののほか複写したものでもよい。
- ※欄は、記入しないこと。
- 調査書別紙記入上の注意
各教科の学習の記録の「観点別学習状況」「評定」、「特別活動の記録」又は「行動の記録」において、第 5 学年については、指導要録に文章で記述してある事項を転記する。第 6 学年については、指導要録に記入する仕方によって記入する。ただし、調査書に観点別学習状況及び評定の評価を記載している教科・学年の学習の状況については記載しない。
- 記載内容が 1 枚に収まらない場合は、複数枚作成してもよい。
ただし、本様式を使用し、すべての用紙にページ番号を付けること。

記入責任者氏名	〇〇 〇〇
この調査書別紙の記載事項に誤りが無いことを証明する。	
令和 8 年 11 月 10 日	
小学校名	〇〇〇立△△△△小学校
校長名	◇◇ ◇◇

学 区 外 出 願 許 可 申 請 書

令和 年 月 日

岡 山 県 立 岡 山 操 山 中 学 校 長 殿

岡 山 県 立 倉 敷 天 城 中 学 校 長 殿

(不要な字句を で消す)

岡 山 県 立 津 山 中 学 校 長 殿

岡山県立岡山大安寺中等教育学校長 殿

志願者署名

現 住 所

保護者署名

現 住 所

(TEL)

学 区 外 出 願 に つ い て

このことについて、関係書類を添付の上、次のとおり申請します。

記

1 学区外出願の理由（具体的に記述し、その事実を証明する書類等を添付すること）

2 出願許可に係る住所

上記のとおり相違ないことを証明します。

令和 年 月 日

小 学 校 名

校 長 氏 名

所 在 地

公印

(TEL)

× ㄷ

岡山県立岡山操山中学校・高等学校

1 学校規模（高等学校については令和8年度）

県立岡山操山中学校 1 学年 105 名（3 学級）
 県立岡山操山高等学校 1 学年 280 名（普通科 7 学級）

2 目指す教育

- (1) 自らの在り方や生き方を探求し、日本や国際社会の未来を切り拓く高い志を持った生徒の育成
- (2) 主体的に学び、考え、個性や才能を最大限に伸ばす意欲と確かな学力を持った生徒の育成
- (3) 社会の一員としての自覚を身に付け、互いに認め、共に高め合う、豊かな人間性を持った生徒の育成

3 教育課程の概要

教育課程の概要

学校	学年	区分	学習の位置付け	教科・科目	教科研究	総合的な学習 (探究)の時間	課外活動	特別活動		
岡山操山高等学校	3	発展期		共通科目 一人ひとりを の学力を “伸ばす” 少人数授業	GLOBAL STUDIES 教科研究・授業改善	目指す人材像 未来の岡山と世界の幸福の実現に貢献するグローバル・リーダー	未来航路プロジェクト	S O Z A N 国際塾	社会の一員として自己の生き方を探求する進路学習・異年齢集団による交流活動	
	2		進路選択と実現 進路	多様な選択科目で、 文・法・経済・理・ 工学部系のほか、 芸術・体育系を はじめ、あらゆる 進路の希望に対応。 ■各教科で育成したい6つの資質・能力についての「SOZAN Global Competency」を設定し、主体的・対話的で深い学びのある授業づくりにより、グローバルリーダーとしての資質・能力の向上と探究的な学びの質を深化させる。						■自らが設定した課題を探究する力、主体的に学んだり、考えた り、判断したりする力等を身に付けさせる。 ■課題研究を通して、グローバル社会に対する諸問題に対して 常に疑問を持ちながら深く考察し、現状に対する的確な分析 を行う態度を育成する。
	1		新しい友との大 出会いの拡大 自己啓発の推進							
岡山操山中学校	3	充実期		必修教科 数字・英 語 お け 又 は 業 数 学 お け 又 は 業 少 人 数 授 業	学校設定教科 コミュニケーション	目指す人材像 未来の岡山と世界の幸福の実現に貢献するグローバル・リーダー	未来航路プロジェクト	S O Z A N 国際塾	社会の一員として自己の生き方を探求する進路学習・異年齢集団による交流活動	
	2		学び方の習得と 主体的な学びの確立	国社数理英 国社数理英 書写音楽保健 国社数理英						レクチャー クリエイト レクチャー
	1		自己理解の推進と 人間関係形成							

4 特色のある教育

グローバル・リーダーとして必要な6つの資質・能力として、「幅広く深い教養」「課題発見・解決能力」「新たな価値を創造する力」「主体的に行動する力」「他者と協働する力」「自他を尊重する心」を持った生徒を育成するため、中高6年間の教育活動全般にわたり特色ある教育を実施しています。

(1) 自分を見つめ、学ぶ意義をつかむために

◆ 総合的な学習（探究）の時間「未来航路プロジェクト」

- ① 仲間と共に体験的な学習や地域社会の課題研究に取り組み、解決に向けた提案や発信を行います。そのプロセスを通じて、自らの在り方や生き方、学ぶ意義を考えていきます。

【令和8年度校外活動】（中学校）

1年生：校外学習（岡山）、2年生：京都研修（1泊2日）、3年生：東京研修（3泊4日）

- ② 学級や学年、異学年による発表の場を通して、プレゼンテーションスキルの向上に加え、自らを振り返り、改善する力を育成します。
- ③ 中学校3年生での課題研究を卒業論文にまとめ、論理的思考力を育成します。

(2) グローバル社会で活躍できる人材を育成するために

◆ 学校設定教科「コミュニケーション」(中学校)

中学校における教育課程の特例を活用した学校独自の教科「コミュニケーション」を設置し、各教科等の課題を解決する学習を通して、自分の考えや思い、感じたことを他者に伝え、他者から引き出し、表現する力を育成します。

【主な学習活動】ネイティブ講師授業、ディベート、弁論大会、イングリッシュサマーキャンプ等

◆ 課外活動「SOZAN 国際塾」(中学校・高等学校)

課外活動の一つとして「SOZAN 国際塾」を設置し、生徒が、様々な世界・分野の方々と積極的に交流したり、自ら進んで何事にも挑戦したりする活動を促進します。

- ① 探究活動(課題研究) : 各種コンテストへの参加、課題研究、プレゼンテーション活動等
- ② コミュニケーション活動: 英語スピーチ、ディベート活動、海外研修等
- ③ 社会貢献活動 : 学習支援ボランティア、福祉施設や地域住民との交流活動等

(3) 基礎基本を確実に身に付け、個性や才能を最大限伸長するために

◆ 基礎基本の確実な定着

- ① 個別最適な学びの場を設定し、自分の学習ペースに応じた学びが選択できるようにしています。

中学校	数学、英語における習熟度別少人数指導及びティーム・ティーチング
高等学校	学習スタイルや習熟度に応じた科目選択、数学・英語における習熟度別少人数指導

- ② 放課後の補充学習等の個別指導や定期考査前の質問教室を実施します。

◆ 個性や才能を伸ばすための幅広い選択教科・科目の開設

- ① 中高教員による協同授業や選択教科・科目の設定と生徒の興味深い内容や題材を通して、学問の奥深さや面白さを実感させ、知的好奇心を喚起し、学習意欲の向上を図ります。

中学校	選択教科「レクチャー」(中学校1・3年生)の設定 : 国語、社会、数学、理科、英語から選択 選択教科「クリエイト」(中学校2年生)の設定 : 国語(書写)、音楽、美術、保健体育、技術、家庭から選択
高等学校	単位制の強みを生かし進路希望に応じた様々な学校設定科目(選択科目)の開設 (古典言語研究、数学概論ε、Global English、ソルフェージュ、素描、未来航路等)

- ② 社会人講師による授業

大学教員や医師、学芸員、企業人など、各分野の専門家による特別授業を実施することにより、中学校の授業では得られないような高度な知識・技能の習得を目指します。

(4) 豊かな人間性や社会性を身に付けるために

◆ 異年齢集団等による多様な学びの場の充実

中高の生徒が共に活動する学校行事、生徒会活動、部活動を通じて、社会性や自立性、責任感等の心の成長を図ります。

生徒の心身の状態に合わせた学びの場・居場所として、教育支援室「とこわ」を設置しています。

◆ 特別活動や道德教育の充実

ピア・サポートや奉仕活動などの様々な体験的な学習や生徒が主体となった特別活動、道德の授業を通して、自己有用感等を高めるとともに、社会の一員としての自覚を促します。

◆ カウンセリング体制の充実

生徒の心の居場所となるような、温かい雰囲気「心の相談室」を設置しています。スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー、教員等が生徒や保護者の様々な相談等に対応し、心身ともに健康な学校生活を送るための助言や支援を行います。

岡山県立倉敷天城中学校・高等学校

1 学校規模（高等学校については令和8年度）

県立倉敷天城中学校 1 学年 105 名（3 学級）

県立倉敷天城高等学校 1 学年 240 名（普通科 5 学級、理数科 1 学級）

2 目指す教育

- (1) 科学的思考力と創造力を身に付け、21 世紀の社会を各分野で主体的に担っていくことができる生徒の育成
- (2) 幅広い知識と国際的な感覚を身に付け、国際社会で活躍できる知的バランスのとれた生徒の育成
- (3) 豊かな人間性をもち、自分を律し他を尊重しながら個性を伸長する意欲のある生徒の育成

3 教育課程の概要

学校	年次	区分	学習の位置づけ	身に付けた力等	教科・科目	
					サイエンス	総合的な探究の時間 総合的な学習の時間
倉敷天城高等学校	3	個性伸長	○進路選択と進路実現	○自分の人生と将来を考える	個に応じて選択できる授業 進学型単位制カリキュラムにより、個々の志望校に応じた大学進学等に適した科目を多く開設し、数学・英語・理科などではさらに進度別や習熟度別の授業選択も可能 課題研究 習熟度別授業【数・英・理・国】（主に高2・3年次） 基礎・基本を中心として、通常の進度で学習するコース 基礎・基本に加えて、発展的な内容も学習するコース 課題研究 進度別授業【数・英】（高1年次） 中学校第3学年で先行学習した高校数学・高校英語を系統的・発展的に学習	AMAKI 学 （1 単位）
	2		○専攻分野の決定と探究活動の深化	○個の確立・発展		1 年次 サイエンスに代替 普通科：3 単位 理数科：2 単位
	1	発展基礎	○自立的学習態勢の確立 ○（理数科）自然科学の専門的な学習	○個性を磨き合い、個を伸ばす ○人生を選択する力の育成		
倉敷天城中学校	3	個性探求	○探究活動の推進による科学的思考力の習得 ○主体的学習習慣を確立する ○幅広い知識とコミュニケーション能力の習得	○人間関係の充実と共生 ○個を知り、生き方を探る ○生き方を学ぶ（チャレンジワーク）	課題研究 高等学校の内容を一部先行学習 高校数学・高校英語の一部を先行学習し、その他の教科でも発展的に教科の内容を深く学習 きめ細かな指導 数学・英語における少人数指導 十分な授業時数の確保 45 分×7 時間授業の実施 必須教科	AMAKI 学 なるほどプロフェッショナル 岡山調ベリシヨナル グローバル（言語技術・言葉のワークブック） 等
	2					
	1	入門基礎	○学ぶための生活基盤づくり ○自然科学に興味を持ち、基礎知識を習得	○人間関係の基礎・基本を知る		

4 特色のある教育

人間関係づくりから個性の探求、適性に合った進路決定まで、6年間の4期に区分して指導する。

6年間の区分：入門基礎(中1)－個性探求(中2・3)－発展基礎(高1)－個性伸長(高2・3)

(1) 科学的思考力と創造力を育成するために（認知力のトレーニング）

- ① 自ら課題を見つけ解決する力や柔軟な発想力を育むような自然体験活動や観察・実験を積極的に導入。
- ② 科学的なものの見方や考え方を育む学校独自の教科「サイエンス」を開設。
- ③ スーパーサイエンスハイスクール（SSH）研究指定（2005年度から）により、6年間のカリキュラムを研究し、科学的思考力を育成するためのCASEプログラムを導入。
- ④ 生徒一人ひとりがテーマを設定して取り組む「課題研究」における、全教員による指導や大学教員の助言によるサポート体制の充実。
- ⑤ 「全国物理コンテスト物理チャレンジ」「科学の甲子園ジュニア」「日本ジュニア数学オリンピック」等、コンテストへの積極的な挑戦。

(2) 国際社会で活躍できる思考力や表現力や態度を育成するために（非認知力のトレーニング）

- ① 自分の考えや意見を論理的に話したり、書いたりするなど、表現する力を伸ばす授業「グローバル（言語技術トレーニング）」を開設。
- ② 異文化理解や多文化共生感覚を身に付けるために、オーストラリア短期海外研修（希望者）の実施
フィリピン・セブ島短期海外研修（高等学校・希望者）の実施。
- ③ 英語・日本語を使って人前でスピーチやプレゼンテーションを行う機会を校内外で多数設定。
- ④ 各界の職業人を特別講師として招く「なるほどプロフェッショナル」や職業体験「チャレンジワーク」等によるキャリア教育を通して世界を見つめる力を育成。

(3) 豊かな人間性と自律心、他者尊重の精神を育成するために

- ① 思いやりや社会性の育成など心の教育を充実。
 - ・ 異年齢集団の中で行う諸活動（学校行事、生徒会活動、部活動、ボランティア活動等）やピア・サポート、ライフスキル教育等を充実。
- ② 地域との交流と地域貢献活動を充実
 - ・ 地域の小学校・幼稚園の児童・園児との交流活動や学習支援、清掃活動等での地域の方々との協働。
- ③ 学習相談、教育相談を充実
 - ・ 生徒が希望する進路実現に向けた指導の充実、心の悩みへの早期対応。
 - ・ 安心して学校生活がおくれるよう、心のサポートが受けられる、専属の職員を配置した「自立応援室」を設置。

(4) 確かな学力を育む教育を展開するために

- ① 基礎的な学習から発展的な学習まで対応。
 - ・ 生徒一人ひとりの習熟の程度に応じた少人数授業を実施（英語・数学・サイエンス・グローバル）。
- ② 系統性を重視した学習活動。
 - ・ 6年間の学習内容を弾力化（中学校において高等学校の学習内容の一部を先行して指導したり、発展的に取り入れたりするなど、高等学校入学後を見据えたカリキュラム）。
- ③ 45分×7時間授業による十分な年間授業時数の確保とサマーチャレンジ等による補充学習。
- ④ 放課後等の個別指導によるきめ細かい指導や質問教室による主体的学習態度の育成。
- ⑤ 1人1台端末を活用して主体的にICTを利用しながら学びを行う学習活動。
- ⑥ 生徒一人ひとりがアカウントを持ち、AIが学習支援を行う学習ソフトを導入。このソフトにより、生徒は自学自習で自走でき、AIが自分に合った問題を提供して自習したり、予習・復習から大学入試の先取りまで行うことが可能。

◎学校独自の授業等（中学校）

サイエンス	ロンドン大学キングスカレッジのCASEプログラム（思考力を段階的に高めるプログラム）を導入し、思考操作に必要な概念を身に付ける。「博物館実習」の校外研修等
グローバル	つくば言語技術教育研究所の「言葉のワークブック」を使用し「言語技術」教育の充実により、論理的表現力、プレゼンテーション能力、コミュニケーションスキルを伸ばす。
AMAKI学	郷土・職業・平和等の題材を通して、自らの将来を考え、情報収集、データの分析・まとめ方や研修によるプレゼンテーションスキルを習得する。
課題研究	3年間のすべての学びの集大成として、1人1題自ら課題を設定して研究をする。

岡山県立津山中学校 ・ 高等学校

1 学校規模（高等学校については令和8年度）

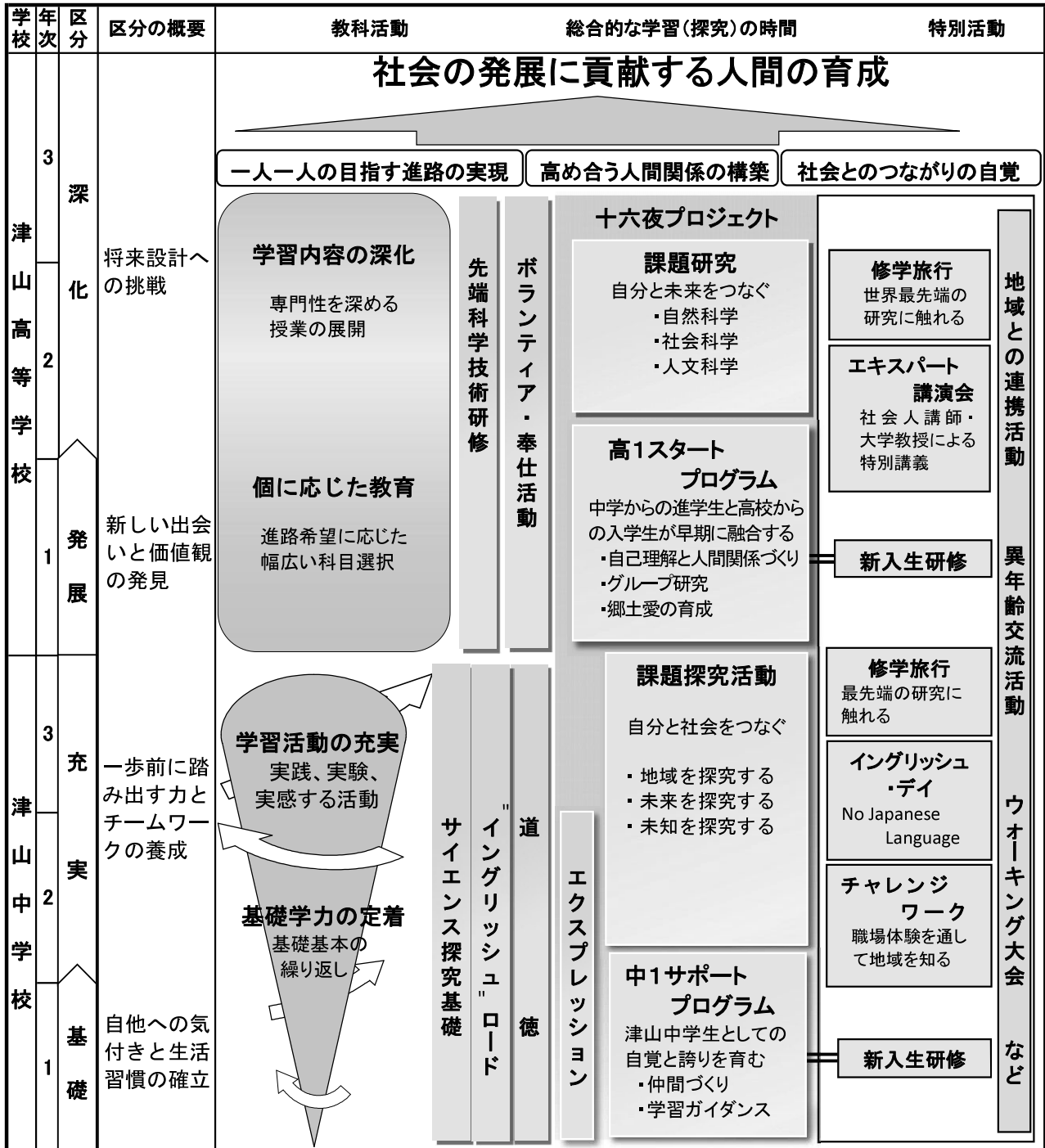
県立津山中学校 1学年 70名（2学級）

県立津山高等学校 1学年240名（普通科5学級、理数科1学級）

2 目指す教育

- (1) 人間形成：敬愛の念を抱き、互いに錬磨し、自己の未来を切り拓く人間の育成
- (2) 真理追究：知的好奇心と探究心に満ち、生涯を通して真理を追究する人間の育成
- (3) 社会貢献：進取の気概と世界的視野を持ちながら、広く社会の発展に貢献する人間の育成

3 教育課程の概要



4 特色のある教育

- 校訓「畏天敬人」の理念のもと、心身ともに健康でたくましく、謙虚に学び周囲の人を大切にする人間を育成する。
- 世界を舞台に活躍できる人間、地域社会の発展に積極的に貢献しようとする人間を育成する。

(1) 豊かな人間性を育むために

- ① 自他への気付きと生活習慣の確立から、将来設計への挑戦まで、6年間で4期に区分して適切な指導を行う。

基礎期（中1）	充実期（中2・3）	発展期（高1）	深化期（高2・3）
---------	-----------	---------	-----------

- ② 他者への配慮や社会性の育成など心の教育を重視し、人間形成の場として同学年はもとより、異年齢集団での幅広い活動や交流を行う。
（登山、学校祭、ウォーキング大会、生徒会活動、部活動、ボランティア等）
- ③ 地域や郷土の歴史・文化に触れ、人々との関わりを通して社会とのつながりを自覚させ、社会の発展に貢献する態度と郷土愛を育む。
（チャレンジワーク、フィールドワーク等）

(2) 確かな学力を育むために

- ① 授業時間を十分に確保し基礎的・基本的な知識と技能を確実に身に付けさせるとともに、深化発展した内容にも取り組み、思考力・発信力、主体性を育成する。

【学びのスタイルの確立】

- ・ 基本的生活習慣を確立し、学習意欲と向学心を旺盛にもちながら、自主的・自発的に学ぶスタイルを定着させる。
- ・ 各教科で体験や実験、ICTを取り入れた授業を実践し、学ぶことの面白さ、分かる喜びを実感する学習活動を展開する。

【読書の習慣化】

- ・ 本に親しみ触れる時間を設け、豊かな感性を育み、幅広い知識を身に付けさせる。
- ・ 朝読書に取り組み、読書習慣を身に付けさせるとともに、落ち着いた学習環境づくりを行う。

【探究活動の充実】

- ・ サイエンス探究基礎・十六夜プロジェクトを中心に、知的好奇心を喚起しながら、様々な体験活動や課題探究活動を取り入れることにより、思考力・応用力・実践力を育成する。

② 特色ある学習活動

サイエンス探究基礎		・ 自然科学に関する実験・観察やものづくりを通して、「思考する力」「工夫する力」「学ぼうとする力」を育成する。
“イングリッシュ”ロード		・ 会話や討論を中心にして英語表現や英語による発信力を身に付けさせ、英語でのプレゼンテーションを行う。
プロ ジ 十 六 夜 エ ク ト	エクスプレッション	・ 物事を多面的に捉えて深く思考し、考えを論理的に構築していく能力を育成するとともに、他者に分かりやすく効果的に伝えるための言語運用能力・発表力・自己表現能力を育成する。
	課題探究活動	・ 住んでいる地域をはじめ日本、世界の環境や実情、諸問題等を目を向け多角的な広い視野でアプローチできる態度を養う。

(3) 楽しく充実したスクールライフのために

- ① 「中1サポートプログラム」などのガイダンス機能の充実により、学校生活や学習活動の円滑なはじまりを実現する。
- ② ティーム・ティーチング、少人数指導等の多様な授業形態により、きめ細かな指導を行うとともに、生徒一人一人の課題を明確にし、放課後の個別指導等を実施する。
- ③ 学校生活において生徒一人一人の実態の把握に努め、個々の生徒に応じたきめ細かな指導を行うとともに、教育相談やカウンセリング体制を充実させる。

岡山県立岡山大安寺中等教育学校

1 学校規模

1 学年 1 4 0 名（前期課程 4 学級・後期課程 4 学級）

2 目指す教育

- (1) 高い目標を持ち、その目標の実現に向けて主体的に取り組むことができる生徒の育成
- (2) 協調性を備え、課題の解決や共通の目標達成に向けて協働できる生徒の育成
- (3) 豊かな教養と品性を備え、持続可能な社会の構築に寄与するリーダーとして活躍できる生徒の育成

3 教育課程の概要

課程	学年	区分	教育の位置付け等	開設科目等の特長	総合的な学習（探究）の時間・特別活動
後期課程	6	発展期	○個に応じた進路指導	知識と体験の融合 ICTの積極的な活用 進路実現に適した学校設定科目の開設 数学・地歴・情報等で 進路に応じた学習の促進 進路希望に対応したコース開設	1 日研修
	5		○主体的な学習の促進		行動力・実践力・課題解決能力等の育成 大学研究 長距離ウォーク
前期課程	4	充実期	○将来を見据えた学習の深化	知識を深める探究型の学習	羽ばたけ大安寺 Day
	3	基礎期	○体験活動で人間力育成	後期課程の先行学習 「数学Ⅰ」「地理総合」等の内容の一部を学習 「探究の科学」 「スピーキング・イングリッシュ」	東京グローバル研修（希望者） 海外研修 【実践的英語力、異文化体験】 海外事情研究
	2		○基礎学力の定着と探究意欲の高揚	国語・数学・英語 各学年で毎日学習	課題探究学習 広島平和学習 チャレンジワーク 長距離ウォーク プロフェッショナルに聴く サテライトキャンプ
	1	基礎期	○困難に立ち向かう精神力と体力の育成	豊富な授業時間 45 分×7 時間授業 「コミュニケーション」	知体の験 未来験 心と体の験

4 特色のある教育

6 年間の一体的な学習活動や体験活動を通して「知識と体験の融合」を目指し、「たくましい人間力」を持った生徒を育成します。

(1) 6 年間で発達段階で 2 年ごとに区分した教育

強固な基礎をつくる「基礎期」、体験活動により視野を広げる「充実期」、進路実現に向け挑戦する「発展期」の 3 区分で構成しています。

基礎期 【学校生活の基盤の確立】	基礎基本の定着と学習習慣の確立に向けた、きめ細かな指導 知的好奇心を刺激する学ぶ楽しさの連続的な体験
充実期 【自らの将来像の形成】	幅広い体験を通じた視野の拡大と俯瞰する力の獲得 専門性の高い学習内容への興味・関心の喚起
発展期 【自己実現の追求】	社会貢献への意欲とリーダーとしての資質・能力の伸長 学問・学修につながる確かな学力の養成

(2) 前期課程と後期課程の学習内容を再構成し、6年間を見通した教育

文部科学省が定める中等教育学校に対する特例措置を生かし、前期課程内の学習内容の一部を前学年の指導に移行したり、後期課程の学習内容の一部を前期課程の指導に移行したりしています。このため、国語、数学、英語については概ね第2学年修了時までに中学校の学習内容を終え、順次、高等学校内容の学習を進めます。

(3) 学校設定科目等による学習の深化

探究型の授業を行う学校設定科目等の開設により、知識を深めるとともに、応用力や実践力の育成を図ります。

基礎期	「コミュニケーション」ディベート、発表等を通して、論理的思考力やコミュニケーション能力を育成します。(第1・2学年)
	「スピーキングイングリッシュ」ALTと英語科教員のティームティーチングや情報機器の活用を通して、基礎的な英会話力を育成します。(第1・2学年)
充実期	「スピーキングイングリッシュ」ALTと英語科教員のティームティーチングや情報機器の活用を通して、より実践的な英会話力を育成します。(第3学年)
	「探究の科学」実験、観察を通して、課題解決のための科学の方法論を習得します。(第3学年)
発展期	「発展地理」「発展日本史」「発展世界史」「数学統論」「数学特論」「数学探究」「生命と科学」「情報探究」で応用力や実践力の育成を図ります。(第6学年)

(4) 知識と体験の融合による、たくましい人間力の育成

学校設定科目等の学習や3つの体験領域の活動など、身に付けた知識を生かし深化させる場面を設定し、行動力、実践力、課題解決能力等を備えた「たくましい人間力」を育成します。

知の体験	ディベートや課題研究等を通して、知識を一層深め、知の運用能力の育成を目指します。科学オリンピックなどの各種コンテストへ積極的に挑戦します。
未来体験	チャレンジワーク、大学研究、東京グローバル研修(希望者)各種講演会等と関連付けたキャリア教育により、自らの将来について深く考えます。
心と体の体験	ボランティア活動や白鷺祭(文化祭・体育祭)等の異年齢集団活動を通して、豊かな心を育むとともに、協調性や困難に挑む強い心と体を育てます。

(5) ICTの積極的な活用による深い学び

1人1台端末の他、充実したICT機器を積極的に活用し、「情報活用力」や「情報発信力」等を育成しつつ、学びをより豊かなものにしていきます。

(6) 安心のサポート体制

6年間を見据えて、同学年はもとより異学年交流を促進し、互いに思いやり、助け合う人間関係づくりを進めています。また、教育相談室を中心に、外部カウンセラー等とも連携した、学習学校生活についての多角的で行き届いた相談体制を整えています。

出願書類チェックリスト（出願用封筒に以下の書類が入っていることを確認してください。）

提出書類等	チェックポイント
☐ 入学願書	☐ 出願サイトから印刷していますか。
☐ 調査書	☐ 小学校等名が記載された封筒の表に、志願校名及び志願者氏名が記入されていますか。 ※ 開封すると無効となります。
☐ 返信用封筒	☐ 530円分の切手を貼付した所定の封筒が2通入っていますか。 ☐ 2通とも志願者本人の住所、郵便番号及び氏名を記入していますか。 ☐ 2通とも志願校の左枠内に○をしていますか。

書類の作成・提出等の詳細については、本冊子1ページ及び6ページをご覧ください。

※ 出願用封筒は、郵便局窓口に出し、**簡易書留**で郵送してください。

問合せ先

岡山県教育庁高校教育課高校魅力化推進室

〒 700-8570 岡山市北区内山下二丁目4番6号 TEL 086-226-7578

ホームページ <https://www.pref.okayama.jp/> → **教育委員会** → **高校魅力化推進室**

岡山県立岡山操山中学校

〒 703-8573 岡山市中区浜412番地 TEL 086-272-9836

ホームページ <https://www.sozan-jhs.okayama-c.ed.jp/>

岡山県立倉敷天城中学校

〒 710-0132 倉敷市藤戸町天城269番地 TEL 086-429-3494

ホームページ <https://www.amaki-jhs.okayama-c.ed.jp/>

岡山県立津山中学校

〒 708-0051 津山市椿高下62番地 TEL 0868-22-3301

ホームページ <https://www.tuyama-jhs.okayama-c.ed.jp/>

岡山県立岡山大安寺中等教育学校

〒 700-8761 岡山市北区北長瀬本町19番34号 TEL 086-255-5013

ホームページ <https://www.daianji-ss.okayama-c.ed.jp/>